

クローバーグループ連携事業「俳句」：ちやまを詠む：

第九回 令和三年度 春夏の部 入賞作品

テーマ 「勝山の四季折々」を詠む

選者

福井県俳句作家協会副会長
福井県俳句作家協会幹事

嶋田 洸石
石 畝 千恵子

特選 北谷は石が語り部苔の花

大阪府豊中市

藤原 明子

選評

「石」とは発掘の進む坊跡の「石」のこと 季語は平泉寺ならではの「苔」を用いて 佳句、無言の「石」にいにしえを感じる佳句です。

特選 はるの日に白銀色の冬をみる

福井県福井市

小武 真侑

選評

当地はいわゆる豪雪の地帯、ときには「春日」なのに「銀色の冬」に後戻りすることもあります。大方の人はこの雪をほめることはありません。作者はおそらく勝山城からみての景に驚いたのではないでしょう。勝山城からの景は四季を通じどれもすばらしいものばかりですが「はるの日」に見る雪を一度経験してみてはいかがでしょうか。

特選 ギシギシと織子の背中春の雨

福井県鯖江市

高木 奈美

選評

不思議な句です。今時の景でない事は間違いないありません。昔の「織子」は「外に子を遊ばせ雨の日は背におぶって働いたと聞いたことがあります。それにしても投句の作者がお若いのでおばあさん当たりの思い出かもしれません。将来頼もしく思います。

入選 蚕ちゃんお空の雲も食べとくれ

京都府宇治市

金森 翔子

入選 だいぶつはとっても大きいいしなんだ

大阪府高石市

福沢 龍仁

入選 勝山城夏の葉っぱと小鳥たち

福井県福井市

西脇 彩菜

入選 荒鋤の土に脚掛け昼蛙

福井県福井市

村田 淑子

入選 新緑や苔に木漏れ日きらきらと

福井県坂井市

江上 奈美

入選 大杉の浮根をふみて蟬時雨

福井県勝山市

福田 富美子

入選は順 不同